ＶＯＬ．５　２００９．４．１　　発行：富山県民ボランティア総合支援センター

ボランティア・ＮＰＯ

こんにちは、支援センターです。

平成２１年度ボランティア総合支援センターの取り組みについて

少子・高齢化、情報化の進展、経済のグローバル化等、社会経済環境が大きく変化する中で、県民のボランティア・ＮＰＯ活動に対する関心は、日増しに高まっています。そして、福祉、医療保健分野をはじめ、芸術・文化・スポーツ振興、まちづくり、環境保全、国際交流協力、災害救援など幅広い分野で、多くのボランティア・ＮＰＯが活動しています。しかし、それらの多くは、組織・財政基盤の脆弱さ、後継者の育成、情報収集・発信力の不足など、いろいろな課題を抱えています。

こうした状況を踏まえ、ボランティア総合支援センターでは、県内の一層のボランティア・ＮＰＯ活動の普及と推進を図り、地域社会を活性化させることを目標に、ボランティア・ＮＰＯ、関係機関等とも協働して、「交流の促進及び活動の支援」、「情報の収集及び提供」、「研修及び人材の育成」及び「普及啓発」等を柱とした事業を展開したいと考えています。また、今年度は、特に、県、市町村及び社会福祉協議会のＮＰＯに関する研修、助成金等の情報の一元化やＮＰＯを対象とする研修の充実などに取り組んでまいりたいと考えています。

創造的地域活性化事業助成金募集開始！

ＮＰＯ創造的地域活性化事業助成金とは、ボランティア・ＮＰＯ活動を行う組織・団体が地域の課題等に自ら取り組む公益的・先駆的な事業に対して資金を助成するものです。

【助成を受けられる団体の要件】

県内に本拠を持ち県内で活動するボランティア団体やＮＰＯとし、法人格の有無は問いません。ただし、政治活動又は宗教活動を目的とする団体は対象外とします。

【助成金の限度額】

１事業につき３００千円が限度（ただし、助成対象経費の８０％まで）です。

ただし、団体の運営経費、営利を目的とする事業に要する経費、他団体から助成を受ける事業については、助成対象から除外します。

【交付申請期限】

平成２１年５月２２日（金）です。交付申請書及び添付書類をボランティア総合支援センター宛て持参又は郵送（当日消印有効）により、提出してください。

【審査・交付決定】

学識経験者等から構成する審査委員会が調査審議したうえで、６月中に交付決定（予定）を行います。（応募件数が１０件を上回った場合は、事務局で１次選抜を行うことがあります。）

なお、審査委員会では、申請団体による事業企画のプレゼンテーションを行います。また、交付決定になった事業企画（団体名・事業内容・金額等）については、ホームページ等で公開します。

【お問合わせ等】

募集要項、申請書は、ボランティア総合支援センター及び富山県男女参画・ボランティア課に備え付けています。また、メール配信又はボランティア総合支援センターのホームページからもダウンロードできます。

※　詳細は、ボランティア総合支援センターまでお問い合わせください。

℡　076-432-2987　　URL：http://www.toyamav.net/

☆☆☆支援センター活動報告☆☆☆

「NPO公開講座」を開催！

２月 28 日（土）高岡市ふれあい福祉センター多目的ホールにおいて「平成 20 年度ＮＰＯ公開講座－みんなに知ってほしい！地域でがんばるＮＰＯ」を開催しました。（主催：ＮＰＯ公開講座実行委員会、共催：高岡市）

講座では、まず、永沢 映さん（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）から「地域とあなたを元気にするNPOとコミュニティビジネス～市民主体の地域の特性を活かしたまちづくり～」と題して、NPO に関する基本的な知識、事例から学ぶ NPO の成功のためのポイントなどについて、分かりやすく、お話しいただきました。

また、「地域でがんばる」事例発表・意見交換では、小林涼子さん（NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト理事長）、能崎博さん（NPO法人買物くらし応援団理事長）及び山下久美子さん（NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち事務局長＝コーディネーター兼務）から、それぞれの団体の活動事例などを紹介してもらった後、永沢さんにもアドバイザーとして参加いただき、会場の参加者も交えて、意見交換を行いました。参加者（約 70 名）からは、NPO のことがよく分かったとか、地域で活躍する NPO のことを知ることができて良かったなどと、好評でした。

「第2回NPOマネジメント研修」を開催！

２月 19 日（木）富山県総合福祉会館において「平成 20 年度第２回ＮＰＯマネジメント研修－ＮＰＯの資金調達術～組織活動の安定化・継続化のために～」を開催しました。

今回の講座では、ＮＰＯの活動を安定的に、継続的に運営していくための重要な要素である資金に関して、日本ＮＰＯセンター理事・事務局長の田尻佳史さんを講師に招いて学びました。田尻さんからは、ＮＰＯの主な財源の特徴、財源構成からみたＮＰＯの分類、望ましい財政基盤の強化方法、助成金の活用方法、企画書の作成やプレゼンテーションの方法などについて、分かりやすく講義していただきました。

「第2回NPO法人設立講習会」・「個別会計税務相談会」を開催！

２月３日（火）富山県総合福祉会館において「平成 20 年度第２回ＮＰＯ法人設立講習会」及び「ＮＰＯ法人会計税務個別相談会」を開催しました。

ＮＰＯ法人設立講習会には、今後法人格の取得を検討している団体・個人の方２４名が参加され、県男女参画・ボランティア課主事河合さんの設立認証申請手続きについてのお話しや公認会計士・税理士千田篤さんのＮＰＯ法人の税務のお話しを真剣に聞いておられました。

「第2回NPO会計税務集中講座」を開催！

１月１４日から５日間、富山県総合福祉会館において「平成 20 年度第２回ＮＰＯ会計税務集中講座」を開催しました。この講座は、講師の公認会計士・税理士の千田篤さんから複式簿記の基礎からＮＰＯ法人の決算諸表作成までを学ぶ講座です。受講された方は、冬場の夜間しかも５日間という長丁場でしたが、大変意欲的に頑張って受講しておられました。

～ ＮＰＯ法人紹介 ～

新しくＮＰＯ法人となった団体や面白い取り組みをされている団体などを紹介するコーナーです。今回は、今年２月に法人化されたばかりの「ＰＥＡＣＥとなみ野」を取材しました。森事務局長にお聴きしました。

名　称：特定非営利活動法人

ＰＥＡＣＥとなみ野

事務所：南砺市荒木 505-1（（株）森組内）

Ｑ１　主な活動内容をお聞かせください。

地域教育を実践する団体として、「となみ野１００ｋｍ徒歩の旅（＝以下『徒歩の旅』）」をはじめ、公開セミナーなどを行うことで、地域の生きる力を高め、より良い社会づくりに貢献することを目指して活動しています。

『徒歩の旅』は、通常の生活とは違った厳しい環境のもとで、子供達が自らの力で４泊５日をかけて１００ｋｍを歩ききるというものです。この事業を通じて、多くの子供達に「生きる力」を身に付けてもらいたいと思います。そして、学校や家庭では実現できない体験教育を実践し、未来を担う子供たちの健全育成につなげたいと考えています。

また、保護者にも研修会などを通じて、自分たちを見つめ直し、成長する場になればいいと考えています。

Ｑ２　活動のきっかけをお聞かせください。

２００４年度から、となみ青年会議所が主体となって実施してきた『徒歩の旅』は、２００８年度の５回目で一区切りついたため、青年会議所の事業としては終了しました。しかし、『徒歩の旅』は、地域の中でも好評であったので、有志が集まって、継続することとしました。

なお、同様の事業は、福岡県の「つくし青年会議所」が始めたのをきっかけとして、いまでは全国２６か所で実施されています。

ＮＰＯ法人化したのは、社会的な信用力を持つためです。また、法人化したことで、自分達の目指す方向性が明確になり、良かったと思います。

Ｑ３　苦労している点などがあればお聞かせください。

『徒歩の旅』を実施するためには、毎回６０名程度のスタッフ必要です。毎年、社会人や大学生に協力をしてもらっていますが、学生は就職などで毎年同じ人に参加してもらうことは難しく、必要数を確保することに苦労しています。

Ｑ４　今後の目標をお聞かせください。

未来に繋がる地域教育に取り組むことが我々の使命と考え、いろんな事業に取り組んでいきたいと考えています。

特に、人材育成に力を入れ、子供だけではなく、保護者も、自分を見つめ直し、鍛え、高める、そのような事業に取り組んでいきたいと考えています。

Ｑ５　何か読者の方に伝えたいことはありますか。

今年度の『徒歩の旅』は、８月５日（水）から９日（日）までの４泊５日で実施します。

事業の概要はＨＰでご確認ください。

http://www.tonami100tabi.com/index.html

また、現在、事業に賛同いただける高校生以上のスタッフを募集しています。詳細については、ＰＥＡＣＥとなみ野事務局へお問い合わせください。

℡　0763-52-7774

平成20年度のNPO創造的地域活性化事業助成金を利用した活動事例を紹介します。「Bamboo saves the earth」の渋谷代表に、団体の活動や採用された事業などについて、お聴きしました。

団体名：「環境と地域活性化を考える市民グループ Bamboo saves the earth ～竹は地球を救う～」

事業名：「地域の縁側」

事務所：富山市婦中町　　代　表：渋谷　秀樹

Ｑ１　主な活動内容をお聞かせください。

高齢化や人手不足で手入れができなくなった私有地などの荒廃竹林の伐採活動と伐採された竹の有効利用を考え、実践することを主な活動としています。

Ｑ２　活動のきっかけをお聞かせください。

５年前に竹の子掘りを初経験し、もっとたくさん竹の子が生えるようにするには適正な竹林整備が必要と知りました。同時に伐採された竹には様々な使用用途があることがわかりました。そこで、NPOの勉強会や竹林ボランティアで出会った人達に声をかけて、団体を結成しました。

Ｑ３　ＮＰＯ創造的地域活性化事業の内容を、お聞かせください。

現在は一人暮らしの老人や家に引きこもりがちな人が多いと聞きます。そこで、「～ここは友達作りの場であり、あなたの居場所～」をキーワードに、日本人になじみの深い竹を活用して、誰もが交流できる場を作ることとしました。

事業名は、「地域の縁側」で、毎月第四日曜日（9:00～16:00）に、団体の活動拠点の一部を広く一般に開放し、だれもが集える場所として提供しました。

来訪者には、伐採活動で排出された竹を活用して様々なクラフト（竹シャベル・竹箒・門松など）作りを教えています。最初はメンバーが主体で教えていましたが、そのうち来ている方々同士が教えあうという形に発展しました。

また、夏には、竹で器も箸も流す台も全て自分たちで作るという流しそうめんも実施しました。多くの方々に参加していただき、大変盛り上がりました。

この「地域の縁側」事業は、地域の人たちにも大変喜んでいただけたものと思っています。

Ｑ４　今回の事業をやってみてどのように感じられたか、お聞かせください。

「地域の縁側」の看板を掲げることで、地域の人達に認知されたことを嬉しく思っています。また、お年寄りが子供にノコギリ等の刃物の使い方を指導するなど、世代を超えた交流ができ、ある程度地域の活性化にも貢献できたのではなかと考えています。

Ｑ５　今後の目標をお聞かせください。

竹は非常に扱いやすい素材なのでお年寄りから子供まで幅広い年代で利用できて、そして来られる方は第四日曜日を楽しみにされているので、今後も可能な限り継続させていきたいと思っています。

また、いずれは毎週日曜日開放し、最終的には毎日開放できるような状態にしていくことが目標です。

Ｑ６　その他に読者のみなさんに伝えたいことはありますか。

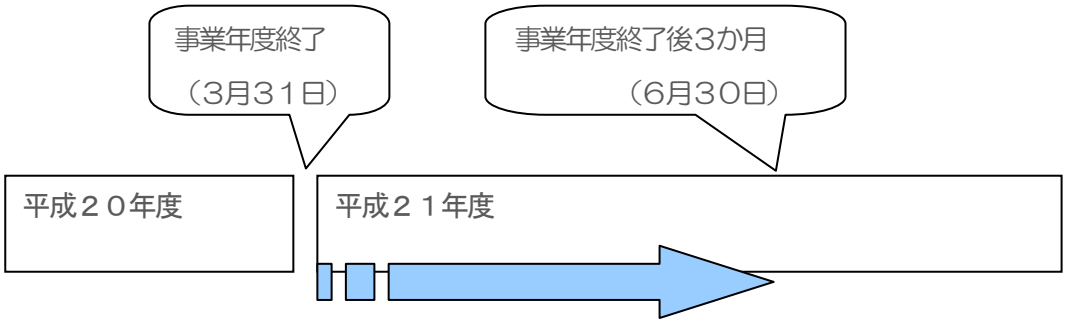
「地域の縁側」は、どなたでも参加できます。気軽に遊びに来てください。

「事業報告書」の提出をお忘れなく！

こんにちは、富山県男女参画・ボランティア課です。桜の季節を迎えましたが、みなさまお元気でしょうか？今回は、３月末で年度が終わるＮＰＯ法人も多いことから、ＮＰＯ法人の「事業報告」のことについてお話しさせていただきます。

ＮＰＯ法人は、毎事業年度終了後３ヶ月以内に、事業報告書等を作成し、法人の事務所へ備え置き、さらに所轄庁（県）へ提出する必要があります。

≪提出期限のイメージ≫



この期間に事業報告書等をご提出ください

※カッコ内は、事業年度が３月３１日で終わる法人の場合

≪提出する必要がある書類≫

・事業報告書等提出書
・事業報告書　・財産目録　・貸借対照表　・収支計算書
・前事業年度の役員名簿　・前事業年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿
（前事業年度に定款の変更があった場合）
・定款　・定款の認証に関する書類の写し　・定款の登記に関する書類の写し

なお、県に提出された事業報告書等は、一般県民の閲覧に供されることになります。事業報告書等は、一般県民のみなさんがご覧になるための書類です。正しく、誰が見ても分かりやすい書類になるように、心がけたいですね。

お問い合わせは、富山県男女参画・ボランティア課ボランティア係（℡　０７６－４４４－９０１２）までお願いします。

ＮＰＯなんでもＱ＆Ａ（ＮＰＯ法人の疑問、質問にお答えします。）

今回は、県男女参画・ボランティア課の河合さんにお聞きしました。

Ｑ．ＮＰＯ法人を設立するには、どのくらいの期間がかかりますか？

Ａ．３～６か月程度必要です。

申請から認証の決定まで２～３ヶ月の審査期間が必要ですし、認証後の設立登記も必要です。さらに、申請以前に、設立総会や申請書類の作成を行う期間を考えると、５，６ヶ月程度かかることも想定しておいた方がよいかと思います。

Ｑ．ＮＰＯ法人の監事には、自分たちのＮＰＯ法人の中の、会計に詳しい理事や経理担当職員になってもらえばいいですよね？

Ａ．いいえ。

ＮＰＯ法人には監事が一人以上必要ですが、法人のチェック役である監事の独立性・公正性を保つため、監事は、理事や職員を兼ねることはできません。

支援センター講座・研修等情報

平成２１年度NPOマネジメント特別研修

今年度の特別研修として、助成金の申請についての講座を開催します。講師には日本財団の荻上健太郎氏をお招きし、「ＮＰＯのための上手な助成金申請術」といいうテーマで、「助成金とは何か」から始まり、情報の収集方法、助成する側との付き合い方、企画・申請書類の作成方法に至るまで学びます。

ＮＰＯの理事、事務局長、資金担当者などで関心のある方は、この機会に是非ともNPO助成金について学んでみてください。

講　師：荻上　健太郎氏（日本財団）　　日　時：5月１４日（木）１３：３０～１６：３０
場　所：富山県総合福祉会館６０１号室　　参加費：無料　　定員：４０名
詳しい内容は、ホームページ又はチラシでご確認ください。申し込みは、ＦＡＸ又はEmailで。

【平成２１年度　支援センター主催等の研修・講座計画】

月	講座・研修等名称	対象
4		
5	第１回ＮＰＯ法人税務・会計事務相談会 ＮＰＯマネジメント特別研修 (NPOのための上手な助成金申請術)	ＮＰＯ担当者など ＮＰＯ理事など
6		
7	第２回ＮＰＯ法人税務・会計事務相談会 第１回ＮＰＯ会計税務集中講座 ＮＰＯ基礎講座 第１回ＮＰＯ法人設立講習会 第１回ＮＰＯ法人会計税務相談会 第１回ＮＰＯ法人設立個別相談会 第１回ＮＰＯマネジメント研修	ＮＰＯ担当者など ＮＰＯ会計担当者など 一般県民など 一般県民など ＮＰＯ担当者など 一般県民など ＮＰＯ理事など
8		
9	第３回ＮＰＯ法人税務・会計事務相談会 第２回ＮＰＯマネジメント研修	ＮＰＯ法人担当者など ＮＰＯ理事など
10	第２１回富山県民ボランティア・ＮＰＯ大会	
11	第４回ＮＰＯ法人税務・会計事務相談会 第３回ＮＰＯマネジメント研修	ＮＰＯ担当者など ＮＰＯ理事など
12	第５回ＮＰＯ法人税務・会計事務相談会 ＮＰＯ法人労務管理基礎講座	ＮＰＯ担当者など ＮＰＯ担当者など
1	第２回ＮＰＯ会計税務集中講座 第４回ＮＰＯマネジメント研修	ＮＰＯ担当者など ＮＰＯ理事など
2	第２回ＮＰＯ法人設立講習会 第２回ＮＰＯ法人会計税務相談会 第２回ＮＰＯ法人設立個別相談会 （参考）とやまＮＰＯ協働チャレンジセミナー（県主催）	一般県民など ＮＰＯ担当者など 一般県民など ＮＰＯ担当者、一般県民など
3		

※平成21年4月1日現在の案です。

お問い合せ先
富山県民ボランティア総合支援センター　　〒　930-0094　富山市安住町5-21　富山県総合福祉会館内
TEL　076-432-2987　fax076-432-2988
URL　http://www.toyamav.net/
E-Mail　info@toyamav.net